

飽きない遺跡散策のすゝめ

遺跡散策…古代のロマンに浸れる時間。そんな風に思っていた時期も筆者にもあった。しかしながら実際はどこの遺跡に行ってもあるものは同じようなものばかり。正直飽き飽きするのも時間の問題である。そこで今回は飽きのこない遺跡散策を紹介しよう。

0. ちゃんにご飯は食べるべし！

もはや当たり前のことではあるが、遺跡というのは保護された広大な土地の中にある。ゆえにすべての遺跡を見るためには何キロも歩かないといけない。実際我々は深夜バス明けで朝食を食べずにエフェス遺跡に行って熱中症もどきのような状態に陥ってしまった。飽きのこない遺跡散策もまずは腹ごしらえからである！



1. まずはあいのままの景色を楽しめ！

初めが一番遺跡を楽しめる時間。新鮮さもあり見たことのない景色が広がっていることに心躍るだろう。その思いが続いているうちは、心の赴くまま遺跡を見るとよい。

右の写真は筆者がまだ元気だったころの写真である。目新しさからか同じような写真が何枚もあった（笑）



2. 飽き始めたら自分の写真を撮り始めよう！

周りの景色を十分満喫したら（飽きはじめたら）自分主体の写真を撮り始めるとよい。写真の中に自分が登場しないと帰国した際の思い出も半減するというものだ。えっ？一人旅だから写真を撮ってくれる人がいない？そんな時はそこら辺にいる外国人に頼んでみよう。もしかしたら新たな出会いのきっかけにも！？

写真に無理してる感が漂っていることを指摘してはならない（笑）



3. 最後は動物の力！

自分の写真を撮り続けるのもよほどのナルシストでもない限り限界が来るだろう。その時は動物を被写体にした遺跡の写真を撮り始めればよい。えっ？動物なんていない？そんなことは聞いていない（笑）そんな時はそこらへんでポーズングしている外国人を撮るといい。やはり現地の動物や人は遺跡にも映える。もしかすると映画のワンシーンのような景色に出会えるかもしれない！



いかがだったであろうか。1～3を繰り返せば飽きなんて来ないはずである。実際に遺跡に行ったときは参考にしてもらいたい。

参考にならなかったという方はそっとその言葉を心の奥にしまってください…。おわり